

●夜。虫の音がする。帰路。

●家のドアを開ける音

●近づいてくる足音

スチア

「…はぁーっ、はーっ…ご主人様…おかえりなさい、なの」

リニア

「んふーっ…、ふーっ…おかえりなさい、ませ…」

スチア

「んっ、遅くまでお疲れ様なの…いっぱい働いてえらいの」

リニア

「ふーっ…、えっと…ご飯は…、んっ、食べてこられたんですね…？」

リニア

「それでは…もう、おやすみに…ふーっ…、なられますか？」

リニア

「ふーっ、…はい、わかりました」

●足音

●寝室のドアを開けて、ベッドに座る音

スチア

「…あ、あのっ、ご主人様」

リニア

「んっ…、その…なんと言いますか…」



スチア

「ご主人様の帰りを待ってる時から…溢れてきちゃったの」

リニア

「だから…、えっち…していいです、か…?」

■『いいよ』と言われ、息を飲む感じで

スチア

「っ…!」

リニア

「っ…!」

●ベッドに押し倒す音

●服を脱がす音

スチア

「ご主人様あ…っ。ご主人様あ」

リニア

「ごめん、なさいっ…」

リニア

「私達、もう…我慢できないみたい、ですっ…」

スチア

「んんっ…。ご主人様も、溜まってたみたいなの…っ」

リニア

「…すごい…もうガチガチです」

リニア

「…ああ、ご主人様のおちんちん…すごいです…」

リニア

「っ…、んっ、ふうんっ…」

リニア

「…ごめんなさい。…入れちゃい、ますね…」

●挿入音

リニア

「んっ、んふううう〜っ！」

スチア

「あっ…リニアずるいのっ…」

リニア

「ごめん、ね…」

リニア

「…ご主人様の勃起されたおちんちん…、見たら…耐えられなく、なっちゃった…」

●ピストン音開始

リニア

「んっ、んっ、ふうっ…。こし、動いちゃう…上に跨って…はしたないのに…」

リニア

「ふっ、ふっ、ふっ…んっ、んふうっ…あっ、んっ、んんっ、んふうっ…」

リニア

「うっ、うっ、うっ、うっ……うんっ、んんっ……んっ、んっ、んっ……んんっ。っはぁ……ひゃんっ、んっ、んんっ、っはぁ……、はぁ……っ、うっ、ううっ……、っうう、んはぁ……あっ、はぁう……あう、あうあう……あうっ……、ううっ、ううんっ……、んはう……うう……、ひうう……っ」

スチア

「ごくり……、あの大人しいリニアが……すごいえっちな……」

スチア

「うう……我慢できないの……」

スチア

「……ご主人様ぁ、スチアが自分で慰めるところ……見ていてほしいのっ……」

●オナニー音開始

スチア

「はぁんっ、あっ……、あっ……、はんっ……んっ……、んんっ。うっ、ううっ……っはぁ……、はーっ……、はーっ……、あっ、あっ……んっ、んぶう……」

リニア

「あっ……スチ……ア……。んっ、ご主人様の……前で……お、オナニーしてるっ……。すごい……だい、たん……」

スチア

「んっ、はーっ……、はーっ……はーっ……、ふんっ、んっ、んんっ……んぶっ……ぶうん……っあぁ……」

スチア

「ご主人様……、ちよつとだけ、首……噛みたいの……。ご主人様の首をはむはむしてオナニーしたいのっ……」

リニア

「んっ、んっ、んっ……、ぶうんっ……、あっ、はぁうっ……、ううっ……、あぁっ……、あう……、あうっ、うっ、うっ……ぶうんっ……、んんっ……、んはぁ……」

スチア

「ありがとうございます、なの……。いただきます…なの」

スチア

「はあむ…あむっ…ちゅ、んっ、んふう…、あっ、はぐっ…ん、んんっ…っああ、ちゅ…あぐっ…はぐっ…、んっ」

スチア

「はあ…っ、はあ…っ、あれ、ご主人様も噛まれて気持ちいい…なの？」

スチア

「…スチアも、ご主人様の首…噛むの…、とっても…興奮するの…」

リニア

「ふんっ、うんっ、うんっ、うんっ…、うんっ…んっ…、っはあ…、はーっ…、はーっ…、んっ、うっ、うっ、ひうっ、ううっ…、っ、はあうっ…あう、あう、あうあうあう…ううっ、うううっ…ううんっ、っん…んふう…」

スチア

「あぐっ…ぐっ、んっ、ふーっ…んふう…、ちゅ、っはあ…、はーっ…はあむ…あむっ、ちゅ、ちゅぶぶぶ…、ちゅば、ちゅ…ああぐ…ふうむっ…んっ、んふう…あぐ、あぐっ…ちゅ、ちゅぶぶ…、ぐっ…っはあ…、はーっ…。はーっ…、はあむっ…ちゅぶぶっ…んっ、んんっ。ぱっ…、れろっ…れろれろ、れろお…あぐっ…んっ、んふう…ふーっ…」

リニア

「ご主人様も…気持ちよく、なれています…か？」

リニア

「っ…、ふーっ…、ふーっ…。出そう、なんですか…？」

リニア

「なら…よかった、です…。そろそろ…私も限界で…」

リニア

「あっ…！ はあう…、そんな、下から突かれたら…、刺激強過ぎて…っ」

スチア

「あむっ…あぐっ…、あぐっ…、んっ、ちゅ、んふう…、ふーっ…、ふーっ…、はうびっ、ぐっ…、ちゅ…じゅるる…んっ、じゅるるる…」

リニア

「はうっ、あうっ、あうっ、あうっ、あうっ、あうっ…うう…、はああう…うんっ、うんっ、うんっ、ううんっ…」



リニア

「…いっちゃ…いい、ました…あ」

リニア

「うう…ご主人様の精子が…私の中で、跳ねてます…」

スチア

「ご主人様…どうだったなの？ 首を噛まれるの、気持ちよかったなの？」

スチア

「ふふん。それはよかったなの…」

スチア

「それじゃあ…次はスチアの中におちんちん入れてもらう番なのっ」

スチア

「そうだ、ご主人様。リニアにも首を噛んでもらうのは、どうなの？」

リニア

「…え、そんな、私が噛むなんてっ…」

スチア

「遠慮しないのっ…ご主人様は気持ちよく感じてくれたの」

リニア

「いや…その、違うんだ…。あのね…」

リニア

「どっちかというと…ご主人様に、首…噛まれたい、です…」

リニア

「あ…ありがとうございます」

スチア

「じゃあ、このままの体勢だと難しいの…」

スチア

「今度はご主人様が上になって欲しいの…それで、スチアとリニア下に寝転ぶの」

リニア

「う…うん」

スチア

「これで…スチアを突きながら、リニアの首を噛めるなの」

スチア

「さあ…ご主人様、スチアのぐちゃぐちゃになったおまんこに…おちんちんを差し込んでほしいのっ」

●挿入音

スチア

「あっ、んふつつ…、おちん、ちん…きた、のお…っ！」

スチア

「んっ、んふうううっ…、あっ、ああああ…奥まで、入って…くる、のっ」

スチア

「はーっ…はーっ…、はーっ、はーっ…ぜ、全部…入った、なの…？」

●ピストン音開始

スチア

「あっ、あっ、あっ、あっ……あっ、ああっ、うう……んっ、はあう、ううっ……んふう……、あっ、あうっ、ううう……あうっ、あう、あう、あうっ……んっ、んんっ……、んはああ……っ！」

リニア

「あの……えっと、……首……どうぞ」

リニア

「優しく……してください」

リニア

「ひゃあ……、あ、あああ……はあああっ……」

スチア

「おちんちん……気持ちよすぎるのぉ……」

リニア

「はああう……ん、んふう……、ひっ、ひいらう……うっ、ううう……っ」

スチア

「はあん、あんっ、あんっ、あんっ……あんっ、んふう……っ、はああ……あっ、あうっ、ううっ」

リニア

「ひいん……、いっ……、いんっ……、っあ……、あっ……うあああ……」

リニア

「はああっ……、嘸まれるのぉ……気持ち……いいっ、です」

スチア

「はあうっ、ううっ、んはあ……あっ、ああっ……スチアのきもちいいとこ……全部突いてくれるのぉ……っ」

スチア

「ご主人様のおちんちん……しゅごいのぉ……っ」

スチア

「ご主人様と……一生、家族なのっ……ぜったい、ぜったい捨てないで……ほしいのぉ」

リニア

「ひいらう……あっ、あああ……うううんっ……、あ……、あ……、うあうう……。っはあ……、んっ、ひいらう……、うう……、んあああっ……、あっ、はああう……、う、うう……、ひいらう……っ、ひいらう……。いっ……、いっ……、っはあ……、ああ……っ、はあーふ……、はあーっ……、ふーっ……」



スチア

「はあうっ、んふう…」

リニア

「あっ…、ひいいう…」

スチア

「…はーっ、はーっ…、ご主人様…、気持ちよかったなの？」

スチア

「えへへ…うれしいの」

スチア

「スチアのお腹…、せーしていっぱいなの…」

リニア

「かはーっ…、かはーっ…、はあーっ…、はーっ…はーっ…、はーっ…はーっ…はーっ…はーっ…」

スチア

「ふーっ…、ふーっ…、んっ…ふーっ、ふーっ…、ふーっ…ふーっ…、はあーっ」

リニア

「…あああ、ゾクゾク…しちやい、ましたあ…」

リニア

「私…いけない子に。なっちやった気がします」

スチア

「んっ…」

リニア

「っ…」

スチア

「ご主人様…」

リニア

「ご主人様…」

スチア

「大好きなの…」

リニア

「大好き、です…」

(暗転)

スチア

「すーっ…、すーっ…、すーっ、すーっ」

●足音。部屋の扉を開ける音

リニア

「…ご主人様、朝ですよ」

リニア

「…ご主人様、起きてください」

リニア

「…。おきてくださらないと」

リニア

「…悪戯しちやいますよ？」

●ベッドから起き上がる音

リニア

「…あ、お…おはようございます」

リニア

「…朝ご飯、出来てますよ」

スチア

「ん…？ 朝ご飯なのお？」

リニア

「そうだよ…。スチアもほら、起きて」

スチア

「もう少し寝たいのお…でもお腹も空いたの…ううう」

リニア

「…はあ、スチアがだらだらになっちゃった」

スチア

「お片付けはスチアが全部やるからおあいこなの」

リニア

「…それは、そうだけど…」

スチア

「朝ご飯は冷めないうちに食べた方が美味しいの。起きるのっ」

●走っていく音

リニア

「…あっ、スチア」

リニア

「…ご主人様、その…ごめんなさい。朝からうるさくて」

リニア

「え…家族らしい、ですか？」

リニア

「そう…ですか」

リニア

「…。そうかも…しれませんね」